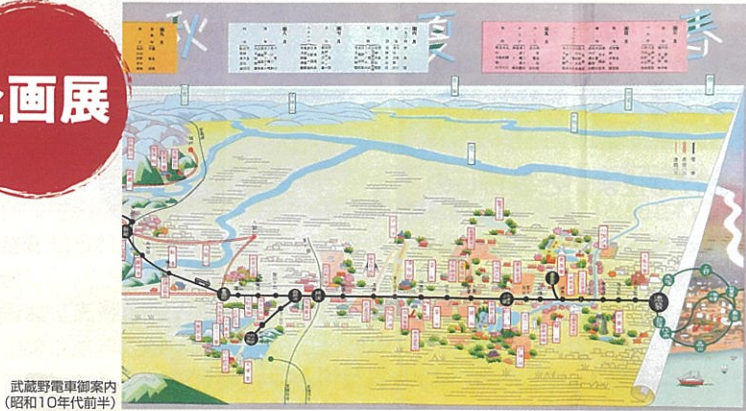


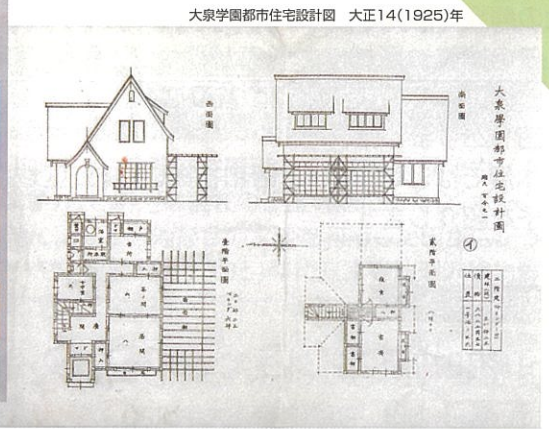
ふるさと文化館ニュース

NEWSLETTER OF NERIMA SHAKUJIKOEN FURUSATO MUSEUM

企画展



武蔵野電車御案内 (昭和10年代前半)



大泉学園都市住宅設計図 大正14(1925)年

「昭和初期の練馬ライフ」

令和4年4月9日(土) ▶ 6月5日(日)

「石神井公園誕生」(仮称)

企画展

令和4年6月18日(土) ▶ 8月14日(日)

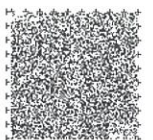


石神井絵はがき 昭和10(1935)年



報知新聞主催の少年水上競技大会での石神井游泳団記念写真 大正14(1925)年

新型コロナウイルスの感染状況により、本誌掲載イベントのほか当館が主催するイベント等が中止や変更となる場合がございます。イベント等の実施につきましては、当館までお問合せいただくか、当館ホームページにてご確認くださいませますようお願いいたします(随時更新いたします)。



- 会 期: 令和4年4月9日(土)～6月5日(日)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室
- 観覧料: 無料

大正の終わり頃から、東京郊外へ移り住む人が増え、練馬区域でも住宅地の開発が進みました。

この頃には区域にも電気が通り、生活様式に変化がみられた一方、都心部とは違ってガスや水道の普及は進まず、昔ながらの暮らしが続いている側面もありました。

本展では、大正末から昭和初期の、練馬区域における住まいと暮らしの様子を紹介します。



真空管ラジオ

関連講演会

「昭和初期の郊外住宅地開発とその住まいと暮らしー東京近郊を中心としてー」

講師 内田 青蔵(神奈川大学教授)

日時 5月8日(日) 14時～15時30分

定員 90名(事前申込制、抽選)

参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館
1階 多目的会議室

申し込み方法

往復はがきまたは

当館公式ホームページ内のイベントページから申込フォームにて、

- ① イベント名
- ② 氏名(ふりがな、2名まで)
- ③ 住所
- ④ 電話番号

を記入の上、石神井公園ふるさと文化館(練馬区石神井町5-12-16)へ。
申込締切 4月14日(木)必着

*このほか、スライドトークなどを開催します。詳しくは、本展チラシ、当館ホームページをご覧ください。

コラム

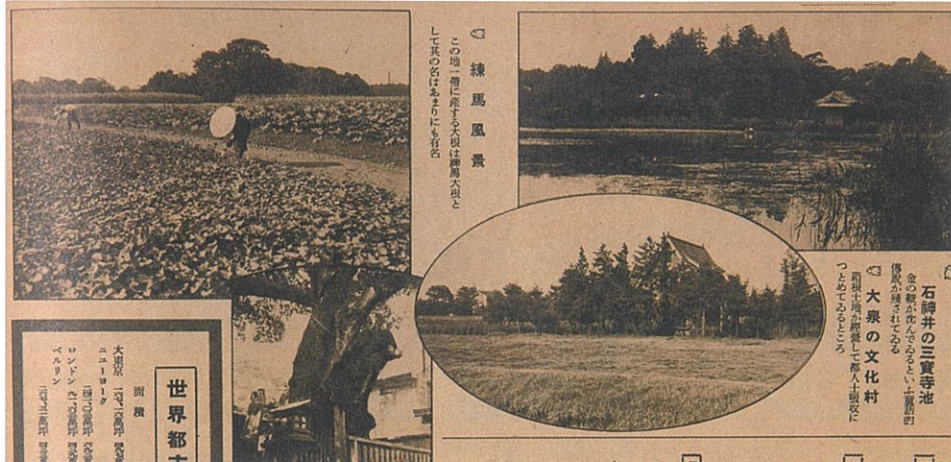
増加し続けてきた練馬区域の人口

現在の練馬区の人口は約74万人です。昭和22(1947)年に区が誕生した時の人口は約11万人でしたが、一貫して増加を続けてきました。特に昭和30年代には人口増加率が110%を超える年が続き、10年間で人口が倍以上に増えました。

人口が急激に増加した時期は、練馬区が誕生する以前にもありました。大正9(1920)年から昭和5(1930)年までの10年間で、練馬区域の人口は、約1.9倍になっています(約2万2千人→約4万1千人)。特に、都心からの距離が比較的近い中村地域では、この10年間で人口が約3.6倍にもなりました(約2千人→約7千人)。畑と雑木林と茅葺き屋根の多かった練馬の農村風景に、近代風の新しい家が建ち、変化がみられはじめました。昭和7(1932)年には、東京市に組み込まれ、住所も、東京府北豊島郡〇〇村から、東京市板橋区〇〇町へと変わりました(練馬区になるのは昭和22年です)。しかし、練馬区域は、東京市内でも都心部から離れており、練馬大根が有名で、ここが東京市内?!と驚かれるような場所でした。

企画展「昭和初期の練馬ライフ」では、この頃の練馬区域の住まいや暮らしを紹介します。

(学芸員: 奥野友美)



『新東京大観 上巻』(部分)昭和7(1932)年より



「石神井公園誕生」(仮称)

- 会 期: 令和4年6月18日(土)～8月14日(日)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室
- 観覧料: 無料

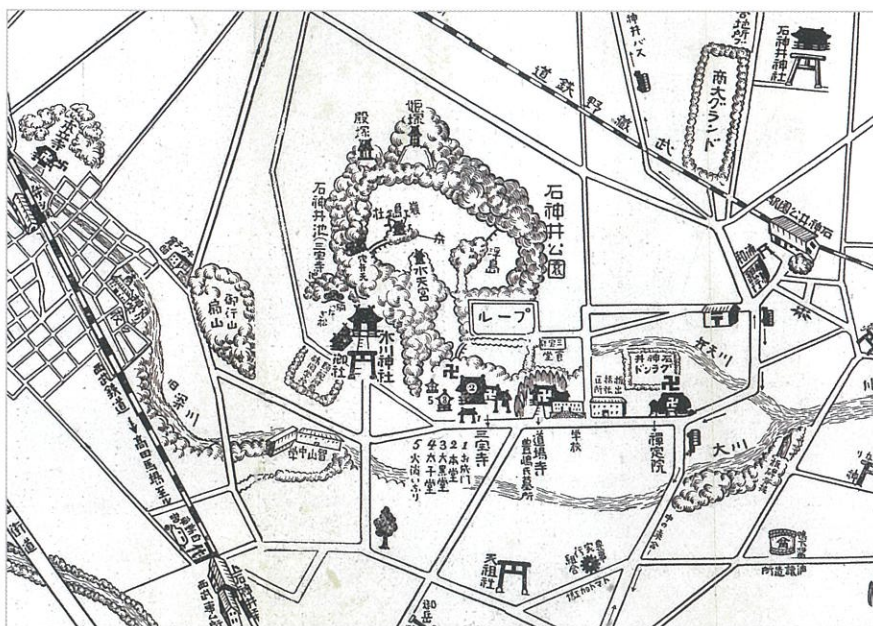
区内有数の自然や豊かな景観を誇る石神井公園は、江戸時代から景勝地として知られていました。大正4(1915)年、武蔵野鉄道(現西武池袋線)が開通すると、地域の人々は、石神井公園周辺の魅力を高める取り組みを行っていきます。本展では、様々な側面から石神井公園周辺のあゆみを紹介します。

『石神井名所案内』より石神井公園の歴史を語る

本図は、昭和8(1933)年に地元の武蔵野郷土会が刊行した『石神井名所案内』という石神井周辺の名所を紹介するガイドブックの付図(部分)です。中央の池は「石神井池(三宝寺池)」と記されていますが、この池は現在の三宝寺池にあたり、ボート池として知られる石神井池は描かれていません。昭和8年当時、石神井池の地には三宝寺池からの水流を利用した田が広がっていました。石神井池が人工池として造られたのは昭和9(1934)年のことです。昭和10(1935)年に三宝寺池沼沢植物群落が国指定天然記念物となり、それまでは三宝寺池で行われていたボート遊びは、石神井池で行われるようになりました。三宝寺池畔にある「プール」は、大正9(1920)年に日本初の100メートルプールとして作られた府立第四公衆游泳場です。湧き水を利用したため水温が低かったと言われています。しかし、水泳大会も盛んに行われ、この地で練習した石神井游泳団からは、後のロサンゼルスオリンピックに出場した選手も誕生しました。

石神井池も府立第四公衆游泳場も三宝寺池の豊かな水源を利用して作られたものですが、三宝寺池南岸には、「巖島社」や「水天宮」などの水神社が描かれているように、三宝寺池は水への信仰も篤い地でした。日照りの際には三宝寺池で雨ごいをすると必ず雨が降ったと伝えられています。また、石神井川(図上は「大川」と記載)と三宝寺池をはさんだ土地には、氷川神社や三宝寺、道場寺があります。この付近は、中世に石神井川沿いに勢力を広げた豊島氏の拠点ともなった場所で、かつて三宝寺池の南には石神井城が築かれていました。

企画展「石神井公園誕生(仮称)」では、このような石神井公園の魅力を掘り下げていきます。(学芸員:小宮佐知子)



『石神井名所案内』(部分)昭和8(1933)年より

当館では、様々な書籍を発行&販売しております!

当館では、館内1階ミュージアムショップおよび通信販売にて、過去の展覧会図録や年報、書籍、オリジナルグッズなど様々な商品を販売しております。通信販売の方法は、館ホームページまたは電話にてお問い合わせください。

「スポーツの祭典1964-オリンピックと練馬-」資料集

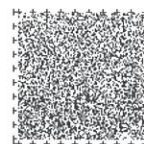


練馬区域からのオリンピック選手や大会関係者、インフラ整備など、練馬区域とオリンピックとの関わりを軸に、昭和39年のオリンピック東京大会を紹介。
令和3年3月発行 A4判、48ページ
価格:700円(税込)

練馬の集団学童疎開資料集 東京第三師範学校附属国民学校の学童集団疎開



現・東京学芸大学附属大泉小学校の学童集団疎開に関する、学校からの通知、家族との往復書簡等の資料を収録。
令和3年3月発行 A4判、98ページ
価格:600円(税込)



令和4年度展覧会年間予定(特別展は有料)

事業名	会期
企画展「昭和初期の練馬ライフ」	4月9日(土)～6月5日(日)
企画展「石神井公園誕生」(仮称)	6月18日(土)～8月14日(日)
特別展「大根展～練馬大根の今昔～」(仮称)	9月17日(土)～11月6日(日)
企画展「校歌」(仮称)	令和5年1月21日(土)～3月21日(火・祝)

催し物のご案内(4月～7月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

企画展「昭和初期の練馬ライフ」

4月9日(土)～6月5日(日)

企画展「石神井公園誕生」(仮称)

6月18日(土)～8月14日(日)

※展覧会および関連イベントの詳細等につきましては、2・3ページをご覧ください。

季節展示事業

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

五月人形飾り 4月23日(土)～5月5日(木・祝) 観覧無料

七夕飾り 7月1日(金)～7月7日(木) 観覧無料

季節体験事業

ちがや馬づくり 7月2日(土) 14時～16時
申込:事前申込制

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

現代に生きる柳生新陰流

5月22日(日) 14時～15時30分

お話と演武:柳生耕一平蔵信(柳生新陰流兵法第二十二世宗家)
定員:80名(抽選) 申込:事前申込制

ギャラリー展

ホテル-生命の輝き-写真展 6月1日(水)～7月18日(月・祝)

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

4月23日(土)、5月21日(土)、6月25日(土)

※7、8月はお休み

①:13時30分～15時 ②:15時30分～17時

対象:中学生以上 定員:各回20名(抽選)

参加費:各回300円～500円(解説員により異なる)

申込:事前申込制

その他のイベント

ピアノと声楽によるミニコンサート 音楽の「手紙」

4月9日(土) 14時～15時

会場:石神井松の風文化公園管理棟 2階 多目的室

定員:100名(抽選) 申込:事前申込制

蓄音器コンサート

7月10日(日) 15時～16時

会場:石神井松の風文化公園管理棟 2階 多目的室

定員:50名(抽選) 申込:事前申込制

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内(令和4年3月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) **入館無料** ※特別展は有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

	石神井公園ふるさと文化館	徒歩10分	分室
最寄駅	<ul style="list-style-type: none"> 西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分 西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分 		<ul style="list-style-type: none"> 西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分
バス	<ul style="list-style-type: none"> 西武バス 「JA東京あおば」下車 徒歩5分 荻14(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅) みどりバス「JA東京あおば」下車 徒歩5分 関町ルート(関町福祉園～武蔵関駅南口～上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院) 西武バス「三宝寺池」下車 徒歩2分 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅) 		<ul style="list-style-type: none"> 西武バス 「石神井郵便局」下車 徒歩1分 吉60(成増町～石神井公園駅北口～上石神井駅～吉祥寺駅) 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.43

令和4(2022)年3月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061

